



ニュースリリース

平成27年 8月10日
千葉大学 看護学部

平成27年度 千葉大学看護学部公開講座

看護とエビデンス・なぜそれが必要か？
—統計学で示す真実とは—
(一般向け講座)

人は誰でも健康に悪いことを控え、良いことを実践したいと思います。また、患者として治療を受けるなら、最も効果がある治療を受けたいと考えるのが当然です。このように健康に効果がある・ないという判断には、実は多くの人から集めたデータを解析して、科学的に証明することが必要であり、こうしたデータによる証明を「エビデンス」と言います。そして、データで科学的に証明するために必要な学問が、「統計学」です。統計学といっても難しく考える必要はありません。まずはちゃんと数を数える、ということが重要です。個人の経験や思い込みだけで、どちらか一方をよいと判断しないためにも、客観的に考えることです。そのうえで、数字を鵜呑みにしないこと…。

では、なぜ看護職に統計学が必要なのでしょう。自分たちの実践する看護が、本当にベストなものなのか、常に振り返り改善していくことは、専門職としての使命です。そのためにも、データを客観的にみる能力、データを作り出す能力はとても大切だと思いませんか。

本講座では、前半では身近な健康情報を用いて、統計学で示すエビデンスとは何かについて話します。後半では看護に焦点をあて、患者さん個人個人に寄り添うケアの個別性（主観的）と、データという集団がもたらす全体性（客観的）との関係についても、思考をめぐらしてみようと考えています。

〔参考資料〕

1) チラシ

本件に関するお問い合わせ先
千葉大学看護学部（学部学務係 山田 眞規子）
Tel : 043-226-2453 Fax : 043-226-2382
E-mail : tag5660@office.chiba-u.jp

看護とエビデンス・なぜそれが必要か？ —統計学で示す真実とは— (一般向け講座)

日時

平成27年10月18日(日) 10:00~11:30

場所

千葉大学看護学部

第2講義室(亥鼻キャンパス内)
千葉市中央区亥鼻1-8-1

主催: 千葉大学看護学部

後援: 千葉県 千葉市 千葉県看護協会

時間	講義内容等	講師等
9:30~10:00	受付	
10:00~10:05	開講の挨拶	千葉大学大学院看護学研究科長 宮崎 美砂子
10:05~11:20	看護とエビデンス・なぜそれが必要か？ —統計学で示す真実とは—	千葉大学大学院看護学研究科 准教授 池崎 澄江
11:20~11:30	質疑応答・まとめ	千葉大学大学院看護学研究科 広報渉外委員会 委員長 小宮山 政敏
11:30	閉講の挨拶	

《申込方法》

○Eメール

参加予定者全員(3名程度まで)の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先(日中連絡可能な連絡先)をご記入の上、下記メールアドレスまでお送りください。メールの件名(タイトル)は、「公開講座受講申込(一般)」としてください。

○往復はがき

往信用裏面に参加予定者全員(3名程度まで)の住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先の電話番号(日中連絡可能な電話番号)を記入してください。返信用表面には、代表者の郵便番号・ご住所・ご氏名を記入の上、下記(申込先)へ送付してください。

先着順に「受講内定メール」または「受講内定通知書」をお送りします。

【対象】 高校生やそのご家族、市民のみなさま

定員100名

(定員を超えた場合、お断わりする場合があります。)

【受講料】 無 料

【受付期間】 平成27年8月31日(月)~平成27年10月2日(金)

【申込先】 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学看護学部学務係 公開講座担当

TEL 043-226-2453 FAX 043-226-2382

E-mail kango-gakumu@chiba-u.jp



※お申し込みの際に記入して頂いた個人情報は、千葉大学看護学部公開講座業務以外には使用致しません。

看護とエビデンス・なぜそれが必要か？—統計学で示す真実とは—

《講義概要》

人は誰でも健康に悪いことを控え、良いことを実践したいと思います。また、患者として治療を受けるなら、最も効果がある治療を受けたいと考えるのが当然です。このように健康に効果がある・ないという判断には、実は多くの人から集めたデータを解析して、科学的に証明することが必要であり、こうしたデータによる証明を「エビデンス」と言います。そして、データで科学的に証明するために必要な学問が、「統計学」です。統計学といっても難しく考える必要はありません。まずはちゃんと数を数える、ということが重要です。個人の経験や思い込みだけで、どちらか一方をよいと判断しないためにも、客観的に考えることです。そのうえで、数字を鵜呑みにしないこと…。

では、なぜ看護職に統計学が必要なのでしょう。自分たちの実践する看護が、本当にベストなものなのか、常に振り返り改善していくことは、専門職としての使命です。そのためにも、データを客観的にみる能力、データを作り出す能力はとても大切だと思いませんか。

本講座では、前半では身近な健康情報を用いて、統計学で示すエビデンスとは何かについて話します。後半では看護に焦点をあて、患者さん個人個人に寄り添うケアの個別性(主観的)と、データという集団がもたらす全体性(客観的)との関係についても、思考をめぐらしてみようと考えています。

《交通アクセス》

■JR千葉駅から、バスのご利用案内

JR千葉駅東口の改札を出て直進し、駅舎を出るとバスターミナルがあります。7番乗り場から、京成バス「大学病院」行き、または「南矢作」行きに乗車し、「医学部入口」(5番目のバス停)で下車してください。千葉駅から所要約15分です。

医学部の正門を入りましたら、左へお進みください。左側つきあたりが看護学部棟です。



第2講義室は、看護・医薬系総合教育研究棟(中棟)の2階です。

